



CHECK THE
PRODUCT
チェックザプロダクト!

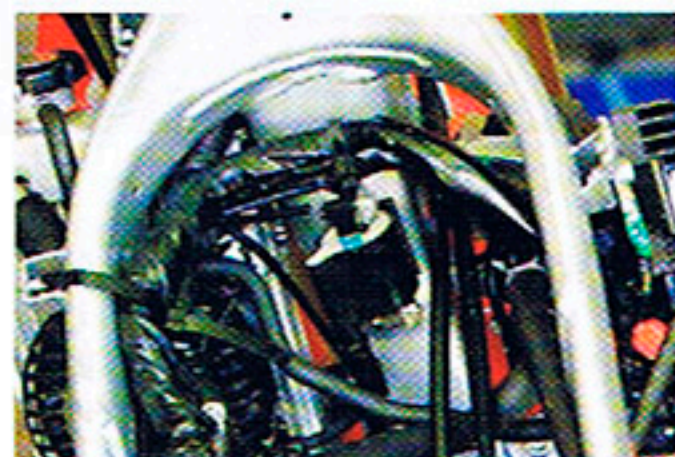
PLASMA BOOSTER by OKADA PROJECTS

◎オカダプロジェクト ◎神奈川県川崎市高津区北見方2-3-5
☎044-822-3341 ◎http://www.okadaprojects.com

横田和彦：文
text by Kazuhiko Yokota

目からウロコの 電気ファインチューン

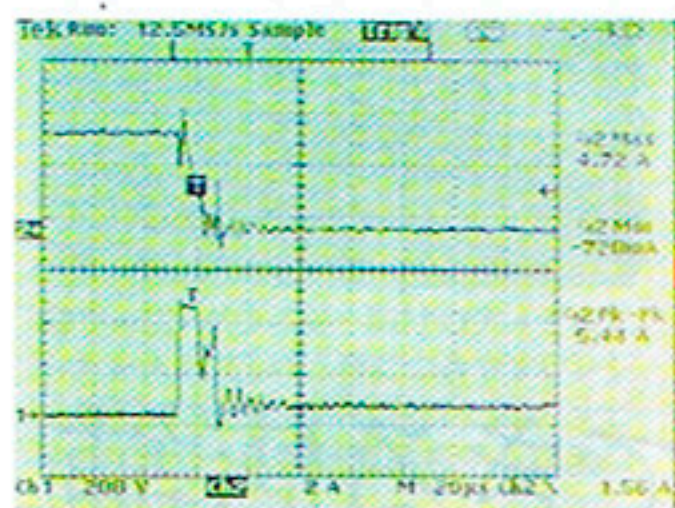
バイクには電気が欠かせない。ヘッドライト、ウインカー、エンジン始動に必要なプラグ、コンピュターなど。目には見えないが非常に重要な役割をはたしている。しかしその電気の流れ道は複雑で、各部でロスが生じている。そのロスがエンジンが本来持っている性能を引き出す障害になっていたとしたら。逆に言えば電気を上手にコントロールし、最適な状態にすればエンジンのポテンシャルを引き出せるということになる。それを実現するのがプラズマブースターである。開発担当の下岡氏に「プラグへ流れる電気の量を増やすことで、スパーク時の火花を太くするのがプラズマブースターの役割です」と説明をされたときはピンとこなかったが、実際に目の前で取り付けられた車両に乗るとその違いに納得



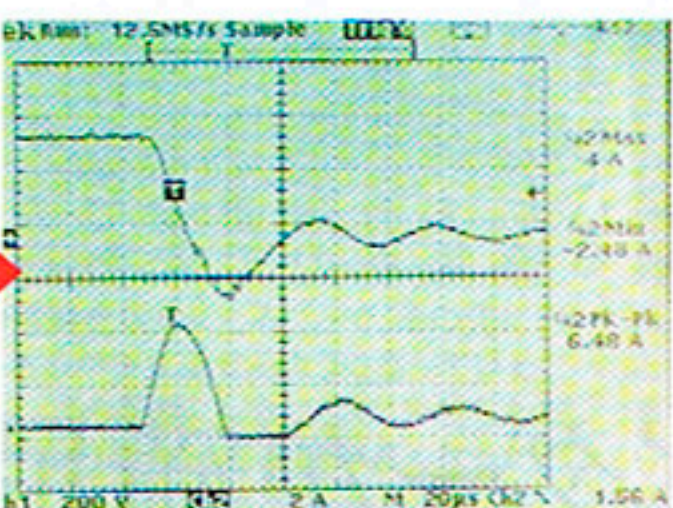
①取り付けはイグニッションコイルの配線にプラズマブースターの配線を割りこませるだけという簡単なもの。CRF250Lはタンク下にコイルがある



②新型のプラズマブースター<タイプE>は小型なので取付位置の自由度が大きい。今回はあえて見える位置に固定したが、シートやカウルの下などに取付けてもいい



③プラズマブースター取付前と取付後の電気の流れ方をグラフで見ると、取付前には乱れていた波形が取付後はなめらかな波になっている。また上のグラフの落差が大きくなっているのにも注目。これはより大きな電流が発生していることを示しているのだ



④プラズマブースターの形状は3種類あるが内部構造は異なり、最適な効果が得られるよう「車種別」に細かく専用設定してある。ラインナップはHPで確認できるが、もしラインナップになくてもオカダプロジェクト本社やイベント会場などでこちらの器械を使って適正なものを判断してもらえ



⑤街乗りで性能アップを実感できるチューニングパーツだ。万が一プラズマブースターが壊れてもノーマルのパフォーマンスに戻るだけなので走行には影響がないという

エンジンのポテンシャルを 発揮するお手軽チューニング

得。アクセルを開けたときの微振動が減り、低中速域での加速がなめらかになったのだ。何より単気筒エンジンのファイリングが上品になったように感じられたのには驚いた。

エンジンの基本動作は、ガソリンを気化させ空気と混ぜた混合気を燃焼室に送り込みピストンで圧縮。適切なタイミングでプラグに火花を起こして（スパーク）混合気を爆発させ、ピストンを押し下げて駆動力を得る。プラズマブースターは、そのプラグがスパークする工程に働きかける。「プラグの間に発生する火種を大きくし、混合気をより早くキレイに燃やすことでエンジンが持つ性能を引き出します」と下岡氏が言うように、プラグで発生する火花が太ければそれだけ火の伝播力が早まり、混合気がすみずみまでムダなく燃え燃焼力が高まる。その結果パワーアップが体感できるという。

「さらに通常は1回だけのスパークを

複数回飛ばすことによって完全燃焼を促進します」と営業担当の伊藤氏が付け加える。それによって始動性の向上やトルクアップが実感できるのだ。しかし火花を複数回飛ばすということは、エンジンにとって大切な点火タイミングが狂ったりしないのだろうか。プラグに電気が流れ始めてから終わるまでの時間はノーマルと同じ。その短時間に複数回スパークさせているので、点火タイミングには影響を与えません」と下岡氏。

無理やりパワーアップするのではなく、エンジンの持つポテンシャルを自然に引き出すプラズマブースター。キャブやインジェクションのリセッティングは不要で、各部の耐久性がノーマルと変わらないのも安心材料だ。

街中で使用頻度の高い低中速域に効くアイテムなので体感しやすく満足度も大きい。一度装着したら外せなくなるお役立ちパーツである。